

防災 防犯 安全

ひとくちメモ

防災まめ知識

～不審者に遭遇したら～

市内での不審者目撃情報は4月から14件ありました(8月31日現在)。

不審者に遭ったり、不審者を目撃したりした場合は、すぐに「110番」に通報しましょう。

【「こども110番の家」が地域の子どもを見守ります】

子どもがねらわれる事件や事故が多発している現在、市では学校と地域が連携して防犯活動を行っています。



「こども110番の家」は、子どもたちが不審者などに遭った時、すぐに駆け込み、助けを求めることができるよう、市内の各地区に設置されています。

毎年、学校が地域のお店や一般家庭に協力を依頼しており、平成18年4月現在、市内の891軒が「こども110番の家」として登録されています。

子どもの安全を守るためには、地域の皆さんが、子どもの行動に目を向けることが大切です。

「こども110番の家」にご協力いただける方は、地域の小学校へお申し込みください。



このマークが「こども110番の家」です。



⑥生涯学習課生涯学習係

④各小学校

23 9268



Let's Enjoy EcoLife エコライフ

～1割減らそう家庭ごみ～

⑥環境衛生課環境保全係 44-3115

まずは1割「ごみ削減運動」

県民1人が1日に排出するごみは約1kg(市民1人当たりの排出量は0.87kg)で、そのうち7割が家庭から出るごみといわれています。

「まずは1割「ごみ削減運動」として、県民一人ひとりが、家庭で1人1日75gのごみを減らすようにしましょう。

「ごみ削減のヒント」

小さな紙も捨てずにリサイクルする
 ・お菓子の空き箱やメモ用紙などは、ついついごみ箱に入れてしまいがちですが、古紙として分別することができます。

・小さな空き箱やメモ用紙、レシート(感熱紙は除く)は、古封筒に入れて古紙と一緒に束ねましょう。

・ダイレクトメールの封筒などでプラスチック(ビニール)の窓がついているものは、プラスチック(ビニール)の部分をはがして古紙に出しましょう。

・ティールにふきんを常備する

・ふきんやミニタオルを常備しておく
 と、水をこぼした時などにもティッシュを使わずにすみます。

・包装の少ないものを選ぶ

・一つずつ包装された物より、まとめて包装されている物を選びましょう。
 ・不要な包装は断りましょう(ブックカバー…約5g、包装紙…約20g)。
 詰替品を選ぶ

詰替品を選ぶ

・詰め替えの手間をかけるだけで、ごみの量は減らせます(洗剤、シャンプー容器…約30～60g)。
 マイバッグを利用する

マイバッグを利用する

・当たり前のようにもらってしまいうれし袋も、再利用しなければ、持ち帰って中身を出した時点でごみになります。かばんの中に、常に一つ買い物用の袋を入れておくようにしましょう(レジ袋…約10g)。

使い切り品を避ける

・使い切り品の利用は避け、再利用できる物を使いましょう(割り箸…約4g、紙皿…10g、紙コップ…13g)。